

ピンクリボンキャンペーンの始まり



- ✔ 1980年代のアメリカから
- ✔ 乳がんで亡くなった女性の母親が、家族と一緒にピンクリボンを作ったのが最初といわれる
- ✔ 「乳がんで命を落とさないように」というメッセージ
- ✔ 日本で広まったのは2000年代に入ってから

どうしてピンクリボン運動が始まったのでしょうか。諸説ありますが、ピンクリボン運動の始まりは、1980年代のアメリカとされています。乳がんで娘を亡くした女性が、孫に対し、『同じ悲しみを繰り返さないように』との願いを込めて、ピンク色のリボンを贈ったことが始まりだといわれています。

その思いを受け継ぎ、現在では乳がんについての正しい知識を普及、啓発し、多くの人を守る活動として世界中に広がっています。

日本では、他の先進国に比べて乳がん検診の受診率が低いという事情もあり、検診の受診勧奨という側面も強いといえます。